

団体調査結果 報告書

〈アンケート依頼団体〉	
・こども食堂	・ 10団体
・教育・保育施設	・ 13団体
・支援団体	・ 16団体
・企業	・ 27社
(計)	・ 66団体)
〈回答内訳〉	
・こども食堂	・ 5団体
・教育・保育施設	・ 10団体
・支援団体	・ 11団体
・企業	・ 14社
(計)	・ 40団体)

※記述回答のため、該当する要素全てでカウントをしています。
そのため、例示している回答内容の合計が回答数を超える場合があります。

【活動目的について】

回答内容（具体例一部抜粋）	
家事の手伝い等の保護者・家庭支援 ・子育て中の保護者支援 ・日々の生活の中で家事の手伝いの手伝い⇒優しいママの心の復活	8件
保育支援・子育て支援 ・保育を必要とする乳児、幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行う ・こころとからだの学習と実践力を重視した教育に取り組み、社会に貢献できる人間の育成に努める	8件
子どもの居場所づくり ・子ども食堂を開催することで、子供の居場所づくり及び保護者の相談や情報交換の場をつくる ・不登校または選択登校の子どもの居場所・学びの場をつくる	5件
交流の機会・場の提供 ・未就園児の親子の交流や遊びを通して子育て家庭を支援していく ・地域の子育て関連情報の提供、子育ての親子の交流の場の提供及び交流の促進	5件

【活動の対象者や対象年齢について】

回答内容（具体例一部抜粋）	
0歳～未就学児	15件
義務教育期間の就学児童（小1～中3まで）	9件
年齢制限なし（全対象）	8件
子どもの保護者	6件
その他（高校生・高齢者 など）	14件

【活動内容について】

回答内容（具体例一部抜粋）	
教育・保育支援 ・乳幼児期における教育及び保育において、園児が主体的な活動を豊かに展開するように環境を整えていき、保育教諭との関わりも信頼関係を十分に築いていく ・医療・介護・働く職員のための院内保育	9件
交流の場・情報共有等の場の提供 ・母子対面だけでなく、人の目を借りちょっと一息つきながら育児に関わるママたちの発散の場を提供しつつ、和やかな雰囲気づくりに努める ・家族の交流会、定例会（日頃の悩みごとを相談したり、情報交換）	6件
イベント開催 ・休校日には別団体と連携し、映画の上映会やリサイクル市などを開いている ・毎月の季節のイベント、読み聞かせ等	5件

【橋本市の子育てや子どもが育つ環境について、充実していると思うこと】

回答内容（具体例一部抜粋）	
子育て支援が充実している ・「管内の園・学校」「学童保育」を始め「子育て世代包括支援センター」「ヘスティア」などの公共機関の活動や各種教育機関との連携によって、妊娠、出産、子育て期に至るまでの切れ目のない支援がなされていること ・子どもを育てやすい環境に視点を向けて手立てを行っている。 例えば、ファミリーサポートや医療助成体制、子育て支援センター、一時預かり制度、病後児保育、わんパークのイベント等	10件
受け入れ体制の充実 ・乳・幼児の受け入れ体制が整ってきている ・早朝、延長保育の時間の充実、土曜日保育も可能なこと	9件
医療費や各種手当 ・医療費無料、出産・子育て応援給付金 ・18歳まで医療費無料、各種手当	9件

【子どもの健やかな育ちを支える環境について 状況や問題点・課題についての意見】

回答内容（具体例一部抜粋）	
保育士の確保・保育環境の拡充 ・保育士不足。保育士を確保できれば、今以上の手厚い保育を行うことができる ・誰でも通園制度は子育て支援になるのかもしれないが、受け入れ環境が整っていない。保育士不足と保育士の確保等、問題点は多々ある	12件
移動手段 ・小学校、中学校が少なく、遠いため、無料のスクールバス等を支援してほしい ・交通手段（車がないと移動ができない）	6件
関係機関の連携 ・官公庁、教育機関等で子育て支援活動は十分なされているが、各々独自に実施することが多くあまり連携できていない ・新入園児で、発達に遅れが見られる子の引き継ぎ等ができていないことがあるので、保健師との連携を密に図りたい	5件
保護者について ・子育て支援の受益者たる保護者の理解が得られず、教育講演会などのイベントを実施しても保護者の参加が少ない ・保護者として安全な居場所を「学校に預けておけばいい」との思いが強い	5件

【子どもの健やかな育ちを支える環境について

課題解決に向けて団体等で取り組めること・取り組みたいこと】

回答内容（具体例一部抜粋）	
ネットワークづくり・環境づくり ・ 共育コミュニティや青少年健全育成会等が中心となりネットワークづくりを行う ・ 行政内に事務局を持たないNPO法人やボランティア団体とのネットワーク化	8件
関係機関との連携 ・ 市との連携を密に図る ・ 小学校との連携で子ども達の育ちや特性など共有することで、もっと子どもたちに反映できないのかと懸念されることがまだまだ考えられる	6件
預かり環境 ・ 学童保育にも行けず児童館も行きづらいといった、悩みの声にためらわずに利用、活用できる場の提供 ・ 臨時休業になった際、可能な限り院内保育園で預かるようにしている	4件

【子どもの権利擁護の推進について 状況や問題点・課題】

回答内容（具体例一部抜粋）	
経済的困難家庭への対応 ・ 経済的困難家庭や、家族それぞれに別の支援が必要な家庭がある ・ 経済的に困難な状況にある子どもや世帯への支援。物価高で子どもの貧困が深刻化している。	8件
食事に関する支援 ・ 夏休みなどに（給食がないことで）食事が充分できていない子どもがいる ・ こども食堂等の充実	6件
保護者の問題 ・ 園生活では見えない部分（気になる親の背景） ・ ネグレクトと受け止めてしまう家庭が見受けられる。保護者への声かけも難しい	6件

【子どもの権利擁護の推進について

課題解決に向けて団体等で取り組めること・取り組みたいこと】

回答内容（具体例一部抜粋）	
関係機関との連携 ・ 相談があった場合は、関係機関につなげるよう情報収集をしておく ・ 必要に応じ、それぞれの関係機関での情報を共有し、各方面から見守りを続け、できる支援の方法を考える	8件
ヒアリングや面談等 ・ 子どもの様子が気になる時は、子どもに話を聴き、保護者と面談して（親子とも雑談の中で本音が出やすい）、話を聴くとともに、例えばDV被害の経験があって、そのフラッシュバックでしんどいなどの理由がある人には専門のカウンセリングにつないでいる ・ 保護者との直接的な会話を通して、改善してもらえそうな部分から伝えている	8件
食事に関する支援 ・ こども食堂やフードドライブなどで食生活の補助をする ・ 橋本市にある各こども食堂にてボランティア活動に取り組みたい	2件
研修会等 ・ 職員向けに人権の研修を行っている。保健師さんや発達相談員さんの力を借りながら、その子その子にあった支援や家庭にあった支援について話し合う機会をとっている ・ 職員、支援員、会員に向けての質の向上の研修会の開催	2件

【仕事と子育ての両立支援 状況や問題点・課題に関しての意見】

回答内容（具体例一部抜粋）	
男女の役割意識について ・男女が育児に参加する意識と環境には、いろいろと政策等で、柔軟に考えて取り組まれている家庭もあるが、まだまだ女性側が子どもに関わることや家事に追われている家庭が多く感じる ・ほぼ父母とも就労体制なので、育児には分担制を行っている家庭も見られるが、ほとんど母親が育児中心となっている。しかし、昨年度から父親も育休の体制を取っている家庭も見られ、母親の育児・家事・仕事等の両立の大変さもわかり、育児に協力体制な家庭もちらほ見られる現状である	13件
職場からのサポート体制 ・子の看護の為に急な休暇取得を行うと、一時的な人手不足に陥る可能性がある。どこの事業所にとっても共通の課題ではあるが、やむを得ない人員不足における同僚社員やお客さまの理解浸透が必要 ・子どもが病気の時など、休暇がとりにくいことがある	10件
男性の育児休暇 ・年々育児参加への意識が変わってきて、男性の育休取得の話を聞くようになった ・男性の積極的な育児参加が増えていると感じるので、男性の育児休業取得や短時間労働者等柔軟な働き方が増えれば良い。それとともに、育児者を支えるまわりの労働者の負担を増えないようにすることが大きな課題と捉えている	9件

【仕事と子育ての両立支援

課題解決に向けて団体等で取り組めること・取り組みたいこと】

回答内容（具体例一部抜粋）	
職場のサポート・制度活用 ・育児のための所定労働時間短縮の措置 ・育児者が育児をしっかりできるような環境づくり、サポートを行う。復帰するまでだけでなく、復帰後の勤務についてもサポート体制をつくる。育児者を支える労働者の業務負担を減らす工夫や休暇制度を考えていきたい	10件
交流の場づくり・情報共有等 ・父親が子育てに参加したくなるような情報を発信 ・保護者同士が子連れでもゆっくり話をする事ができるような『親子カフェ』等	6件
環境づくり ・男女が共同で子育てできるように職場環境や地域環境を整える ・育児と仕事の両立ができる職場づくり、保育時間が長くても子どもも保護者も安心できる環境づくり	4件
子育て支援 ・出産、育児マニュアルファイルを作成。産休～復帰までに必要な提出書類や受けられる制度などを全て順番にわかりやすく資料にし、ファイリングした冊子を1人1冊プレゼントしている ・高齢者による子育て支援	4件

【子どもが健やかに育つまちづくりについて 状況や問題点・課題】

回答内容（具体例一部抜粋）	
遊び場について ・子どもが安心して遊べる公園等の公共施設が少ない ・遊び場に関して、土日祝や雨天時に子どもたちが安全に無料で利用できる施設を充実させる	15件
不審者や車など屋外での危険性 ・電車で通学する子も多く、今まであった事例としては「電車内や駅に不審者がいた」「知らない高校生に声を掛けられ怖かった」などがある ・通学路におけるガードレール整備の強化	10件
地域の見守りについて ・登下校の見守り活動が行われているが、ボランティアが高齢化し後継者が育っていない ・園内や家庭だけでなく地域の人々全員で子どもたちを見守っていく体制の充実（見守りボランティアなど）	5件

【子どもが健やかに育つまちづくりについて

課題解決に向けて団体等で取り組めること・取り組みたいこと】

回答内容（具体例一部抜粋）	
遊び場等の環境の整備 ・屋外での公園施設は整備されてはいるが、暑さをしのげる幼児向けの屋内プールとか、屋内で遊べる遊戯施設があればと感じている ・公園の整備	7件
関係機関との連携 ・各関係機関と協力して訓練を行う（保護者にも発信していく） ・市内の自治会などとの連携	5件
見守り体制 ・通学路や園周辺の見守り ・こどもの下校時などの見守り、買物や散歩などをしながら様子を見て、安全を確認している	4件

【行政に充実を望む支援策、子育ての課題に関連して困っていること】

回答内容（具体例一部抜粋）	
経済的支援 ・子供関連の所得制度の廃止。給食費・教育費の無償化 ・各自治体による教育費の格差（高校授業料、給食費、通学交通費）	10件
子育て支援 ・地域ぐるみで子育てができるように地域の子育て支援事業を推進 ・将来の日本を背負っていく子供たちにより厚い支援をお願いしたい	5件
相談体制 ・相談窓口の充実 ・親の健康支援策。メンタルを含めた健康相談ができる環境づくり	5件